

次期産業振興計画の目指す将来像及び施策の方向性について

【本計画の目指す将来像】

前回の委員会で議論いただいた、町田市の産業・経済における10年度を踏まえて、本計画で目指す将来像を検討したい。

目指す将来像：「

」

【想定されるキーワード】

チャレンジ、未来、町田でいいや、サステナビリティ、イノベーション、エッジ …等

【次期計画で推進する3つのチャレンジ】

前回の策定検討委員会においては「新産業の育成」、「企業の競争力強化」、「事業継続の支援」、「労働力の確保」という4つの項目を施策の柱の案として提示した。今回、それぞれの柱に結びつく施策の検討を行うにあたり、より分かりやすい表現に見直し、「3つのチャレンジ」とそれを支える「1つの土台」として整理した。

第4次産業革命の進展や、グローバル化に伴う国内外での競争激化など、町田市の経済・産業を取り巻く環境が大きく変化するなか、起業・創業や新分野への進出、競争力の強化、経営安定化のための取り組みなど、さまざまな「チャレンジ」を行う市民や事業者を支援する。また、より多くの「チャレンジ」が生まれるよう、さまざまなことに取り組みやすい市内環境の整備を推進する。

起業・創業へのチャレンジ

新たにビジネスを起こそうとする人材の発掘から、起業・創業の実現、起業・創業後の事業安定化まで切れ目のない支援を行い、市内での起業・創業を促進する。

新たなステージへのチャレンジ

新たな商品・サービスの開発や新事業の展開、販路開拓、異業種等との連携など、時代のニーズへの対応に意欲的に取り組む事業者を支援し、市内事業者の競争力向上を図る。

将来へつなぐためのチャレンジ

人材の確保・育成や事業承継、生産性の向上など、事業を長く続けていくために必要な経営基盤の強化に関する取り組みを支援し、市内事業者の経営安定化を図る。

ビジネスをする人や働く人にとって「居心地の良い」まちづくり

多様な人材が集まる環境、まちの賑わいなど、ビジネスを行っていくうえで有利な条件を整えることに取り組み、人や事業者から「選ばれるまち」としての魅力を高める。

なお、それぞれの施策の柱に基づく取り組みの方向性や具体的な施策の例については、別紙「資料6」のとおり想定する。